

児童発達支援・放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4 年 4 月 1 日

事業所名 じゃんぐるHIRO

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○				
	2	職員の配置数は適切である	○				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している			○		現在HPは開設しておりませんが、今後検討していきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○				
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○				定期的に事業所で外部講師による研修会を開催している。事業所以外での研修会に参加している。事業所内では年6回実施。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している			○		特性を把握するために行動観察や問診をしているが、M-CHAT日本語版PARS、CARS等は使用できていない。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○				
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○				
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		○			平日、休日、長期休暇関係なく同様(行事などのイベントも今後検討していきます)。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○				
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○				
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○					

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			保護者の要望に応じて、学校への訪問(情報交換)を実施している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			就学前に関係機関との情報交換、書類作成など実施している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			専門機関との連携を実施している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○			
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			保護者との相談はその都度している。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○		連絡ノート、口頭での情報交換はしているが、今後情報発信について職員間で考えてます。
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○				
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○				現在、身体拘束を必要な事例はありません
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○				
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○				職員間での情報の共有を徹底していきたい

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

児童発達支援・放課後等デイサービス

事業所名 じゃんぐるHIRO

保護者等配布数(児童数)

回答数 36

	チェック項目	はい				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	36					
	2 職員の配置数や専門性は適切である	36				子どもの特性にあった対応をしてくれている。	職員間で情報の共有はしていますが、振り返りのミーティングに力を入れていきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	36					児童にわかりやすい環境(空間)を提供していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	36					使用後の部屋、玩具などの物品等は消毒をしている。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	35	1			いつも細かく分析してくれる。	
	6 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	35	1				こどもの日々の姿の変化を捉えながら、支援を考えます。
	7 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	35	1			子どもあきないように常に新しい活動を考えてくれている。	
	8 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	18			18		地域の子供たちとの交流にどのように取り組んでいけるか職員間で話し合います。
保護者 への 説明等	9 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	36					
	10 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	35		1		その日の活動をいつも伝えてくれる。	
	11 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	35		1			今年度は、自閉症巣ぐくラム、てんかん等年6回研修会を実施している。今後はオンラインでも検討中です。
	12 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	17		1	18		
	13 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	35		1			
	14 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	36					
	15 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	31			5		現在HPを開設していません。今後情報発信として検討していきたいと考えます。
16 個人情報の取扱いに十分注意されている	32				4	個人情報に取り扱いは万全を期していきます。	
非常時 等の 対応	17 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	36					個別に説明していくようにしていきます。
	18 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	36					実施内容を保護者に周知していただけるようにしていきます。
満足 度	19 子どもは通所を楽しみにしている	36					今後とも満足していただけるように職員一同頑張っていきます。
	20 事業所の支援に満足している	36					今後とも満足していただけるように職員一同頑張っていきます。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

児童発達支援・放課後等デイサービス

事業所名 じゃんぐるHIRO

保護者等配布数(児童数)

回答数 36

	チェック項目	はい				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	36					
	2 職員の配置数や専門性は適切である	36				子どもの特性にあった対応をしてくれている。	職員間で情報の共有はしていますが、振り返りのミーティングに力を入れていきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	36					児童にわかりやすい環境(空間)を提供していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	36					使用後の部屋、玩具などの物品等は消毒をしている。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	35	1			いつも細かく分析してくれる。	
	6 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	35	1				こどもの日々の姿の変化を捉えながら、支援を考えます。
	7 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	35	1			子どもあきないように常に新しい活動を考えてくれている。	
	8 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	18			18		地域の子供たちとの交流にどのように取り組んでいけるか職員間で話し合います。
保護者 への 説明等	9 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	36					
	10 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	35		1		その日の活動をいつも伝えてくれる。	
	11 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	35		1			今年度は、自閉症スペクトラム、てんかん等年6回研修会を実施している。今後はオンラインでも検討中です。
	12 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	17		1	18		
	13 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	35		1			
	14 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	36					
	15 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	31			5		現在HPを開設していません。今後情報発信として検討していきたいと考えます。
16 個人情報の取扱いに十分注意されている	32				4		個人情報に取り扱いは万全を期していきます。
非常時 等の 対応	17 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	36					個別に説明していくようにしていきます。
	18 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	36					実施内容を保護者に周知していただけるようにしていきます。
満足 度	19 子どもは通所を楽しみにしている	36					今後とも満足していただけるように職員一同頑張っていきます。
	20 事業所の支援に満足している	36					今後とも満足していただけるように職員一同頑張っていきます。